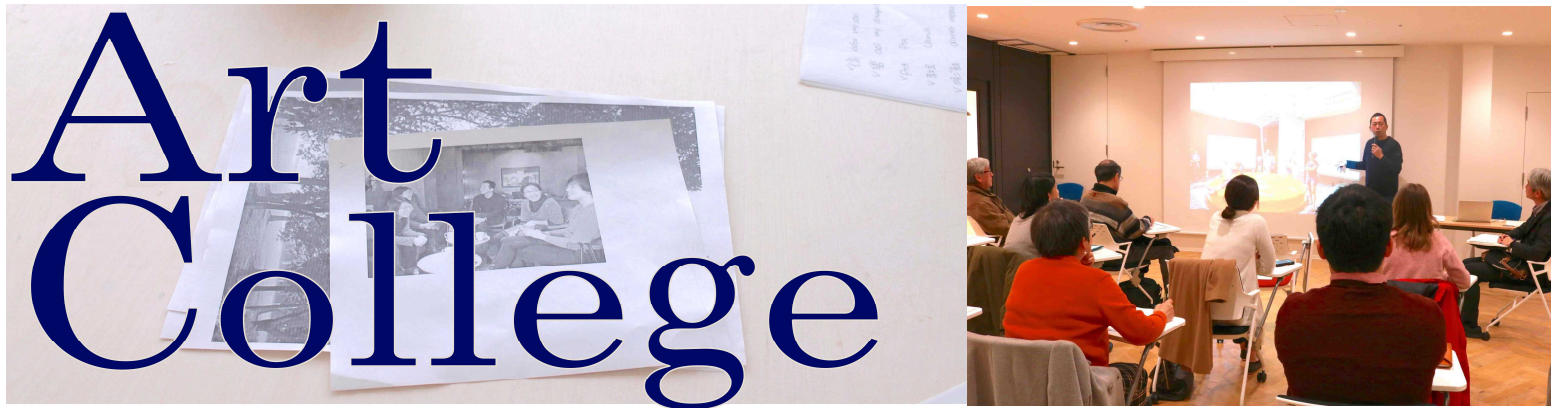


令和4年12月1日

アーカスプロジェクト 2022 いばらき

アートカレッジ開講のお知らせ



アーカスプロジェクトでは、今年で4年目を迎えるレクチャー・シリーズ-「アートカレッジ」を12月に開講します。今年度は、近年改めて注目を集める「アート・コレクティブ」をテーマにします。「アート・コレクティブ」とは、アーティストが集団で活動することを意味するものです。今回のアートカレッジでは、美術史上において注目すべき「コレクティブ」活動を紹介するとともに、同時代的な意味を探ります。

現代アートは、「現代」という時代を映し出す鏡のようなものです。アートと時代を同時に考えることで、私たちが生きている現代への理解を深めます。戦争やウイルスの蔓延など、混迷の只中にいる私たちにとって、社会の大きな変化や動乱を生き抜いてきた過去のアーティストらの実践や知恵は、これからの生き抜くヒントになるでしょう。

ぜひ、事前告知・取材にご協力賜りますようお願いいたします。

2022年度のレクチャー

第1回「いま、なぜコレクティブなのか」

2022年12月17日(土) 11:00-12:30

講師：小澤 慶介 (アーカスプロジェクト ディレクター)

内容：2021年の候補者アーティストがすべてコレクティブであったターナー賞(英国)や、インドネシアのコレクティブであるルアンルパがディレクターとなった今年のドクメンタ15は、現代のアートのあり方に何を投げかけているのでしょうか。個が起点となって編み上げられている資本主義、またそこにおける社会的共通資本の可能性も踏まえながら、コレクティブの今日的な意義を探ります。

第2回「コレクティブ —抵抗の作法」

2023年1月21日(日) 11:00-12:30

講師：藤本 裕美子 (アーカスプロジェクト コーディネーター)

内容：社会の大きな変革期や政情が不安定な時期、アーティストたちはコレクティブを形成してきました。そこでは、作品はしばしば、社会問題に取り組むための状況を作ることや、新たなヴィジョンを提案する行為として表れます。20世紀中葉以降の、シチュアシオニスト・インターナショナルやフルクサス、アート・アンド・ランゲージ、2000年代の多様化するコレクティブの活動を通して、人の考えや行動を規制する権力に抵抗するヒントを探ります。

第3回「コレクティブ —芸術というコモン (仮)」

2023年2月25日(土) 11:00-12:30

講師：藤本 裕美子

内容：思考と想像のプラットフォームとしてのコレクティブは、「アーティスト=個人」を基本として成り立つアートの制度をどのように拡張できるでしょうか。社会主義体制下の旧ユーゴスラビアで1960年代以降に活動を開始したOHOやノイエ・スロヴェニツェ・クンストを出発点とし、労働やコモンというキーワードや制度との関係性をとおして、コレクティブが向き合う今と未来を考えます。

全レクチャーの実施概要

会場：アーカススタジオ+オンライン配信

定員：会場30名+オンライン *要事前予約

受講料：1,500円(各回)

お申込：<https://fb.me/e/1YMhEu57b>

主催：アーカスプロジェクト実行委員会

※新型コロナウイルスの感染状況により、イベントが完全にオンラインへと変更になる可能性がございます。最新情報はアーカススタジオにお問合せください。

お問い合わせ先

アーカススタジオ (火-土 10:00 -18:00)

〒302 - 0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内 担当 | 藤本

TEL | 0297 - 46 - 2600 E-mail | arcus@arcus-project.com

Web | www.arcus-project.com

アーカスプロジェクト実行委員会事務局

茨城県政策企画部地域振興課 担当 | 皆川・大西

TEL | 029-301-2678